



南小だより

E-mail kogenminami@ac.city.myoko.niigata.jp

〈教育目標〉

進んで学ぶ子

思いやりのある子

最後までやりぬく子

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

心温まる大運動会

校長 渡辺 伸一

先日の第72回大運動会は、寒さや雨のため、競技や応援が体育館でのスタートとなりました。私は開会式で「どこであろうと思いに残る運動会にしましょう。ここに皆さんの声をとどろかせましょう」と話をしました。すると、すぐに子どもたちから「はい」と元気いっぱいの声が返ってきました。その声を聞いただけで今までの練習を重ねてきたことが伝わります。運動会が大成功になることを予感した瞬間でした。



競技に先立ち行われた応援合戦は、来賓や保護者の皆様のすぐ前で繰りひろげられました。息づかいが分かるくらいの近さで見ると応援合戦は大迫力。各軍32名の応援は、一人一人があらゆる限りの力を振り絞ったものでした。おそらく見ている皆様は子どもたちの成長を感じたでしょう。応援の合間の一瞬の静寂が、見ている側との一体感を増していました。両軍とも瞬きするの忘れるほどのパフォーマンスでした。最後には会場の皆様から大きな拍手をいただきました。

午前の競技が終わりを迎えるころ「午後のスタートは、グラウンドで徒競走と下学年リレー、上学年リレー、保護者の綱引きをやりたいです。今の天候状態が続く、グラウンドを整備すれば何とか外でできると思います」と体育主任からの申し出がありました。



滑って転ばないか？少しだがグラウンドに浮いている水は大丈夫か？等々不安もありましたが、「やりましょう。職員だけでなく保護者にも協力を仰ぎグラウンドを整備しましょう」と伝えました。まもなく、昼食を早々にすませた、たくさんの保護者の姿がグラウンドにありました。グラウンドは見る間に整備が進みました。笑顔と活気に満ちたグラウンドに私は心が温かくなりました。



裏面に続く

学校と家庭の連携・協力する姿がそこにあることでうれしくなりました。これこそ求める姿です。お陰様で皆様のご支援、ご協力をいただき「燃えろ ぶつかり合い チームで団結 めざせ優勝」のスローガンの下、有意義な1日を過ごすことができました。

「燃えろ ぶつかり合い」とは、進んで学ぶ子です。競技や応援に進んで参加する姿がそこにありました。「チームで団結」とは思いやりのある子です。助け合い、支え合う場面が多く見られました。そして、「めざせ優勝」とは最後までやりぬく子です。一生懸命に競技や応援に取り組みました。この運動会を通して、確かに子どもたちは成長しました。

これからも子どもたちや教職員は、1つ1つに真摯に向き合い、目標に向かって力を出していきます。たくさんの経験を重ね、進んで学ぶ子が育ち、思いやりの心はぐくまれ、最後までやりぬく気力を培っていきたいと思います。

がんばった赤・白の応援団長の一言



赤組応援団長

今年の運動会では2つ学んだことがあります。1つは、仲間とともに味わった達成感です。2つ目は、運動会で負けてしまった悔しさです。

それでも、たくさんの人の協力があつて、午後にグラウンドで競技ができてうれしかったです。僕にとっては、思い出となるいい運動会でした。

白組応援団長

最高学年となった今年の運動会は、今までの運動会と一味ちがいました。最初は、うまくいかないこともありました。運動会が近づくにつれて、白軍のみんなの仲が良くなってきたと感じました。この経験を生かしてこれからもいろいろなことに挑戦していきたいです。



命を守るために

5月7日、新潟市内の小学生が遺体で発見されるという悲しい事件が発生しました。子どもたちの安全は、いつ、いかなる時も絶対に確保しなければならないことです。しかし、現実には登下校時、子どもたちが一人になる場面があります。児童には「できるだけ複数で登下校すること」「決められた通学路を通ること」「不審者対応をとれるようにすること」を指導しました。各ご家庭でも児童と一緒に具体的に話し合っただけであればと思います。交番の方もからも巡視を強化していただいています。少しでも心配なことがありましたら学校にお知らせください。よろしくお願ひします。